

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[60]	[60]	[0]
基本財産受取利息	60	60	0
特定資産運用益	[14,861]	[24,206]	[△9,345]
特定資産受取利息	14,861	24,206	△9,345
事業収益	[61,298,600]	[59,549,600]	[1,749,000]
し尿業務収益	13,343,000	13,736,800	△393,800
ごみ業務収益	47,955,600	45,812,800	2,142,800
受取補助金等	[393,592,251]	[413,744,659]	[△20,152,408]
受取補助金	393,592,251	413,744,659	△20,152,408
雑収益	[2,686]	[4,910]	[△2,224]
受取利息	2,330	4,604	△2,274
受取配当金	200	200	0
雑収益	156	106	50
経常収益計	454,908,458	473,323,435	△18,414,977
(2) 経常費用			
事業費	[428,900,354]	[446,624,546]	[△17,724,192]
役員報酬	4,531,585	4,563,356	△31,771
給料手当	293,713,411	313,915,193	△20,201,782
福利厚生費	50,589,897	53,036,527	△2,446,630
賃金	4,698,323	3,024,312	1,674,011
旅費	19,020	0	19,020
備用品費	11,299,466	10,225,192	1,074,274
燃料費	13,910,319	13,634,468	275,851
食糧費	3,018	5,268	△2,250
印刷製本費	104,830	104,940	△110
光熱水費	407,386	445,506	△38,120
修繕料	14,432,517	16,642,758	△2,210,241
薬品費	35,385	13,553	21,832
通信運搬費	225,822	215,155	10,667
手数料	897,437	910,518	△13,081
損害保険料	2,138,380	2,143,970	△5,590
使用料及賃借料	826,914	839,647	△12,733
負担金	33,935	0	33,935
補償費	31,908	23,870	8,038
退職給付費用	25,250,538	20,262,558	4,987,980
公租公課費	978,500	977,100	1,400
消費税	1,071,221	1,157,156	△85,935
減価償却費	3,700,542	4,483,499	△782,957
管理費	[26,008,104]	[26,698,889]	[△690,785]
役員報酬	3,360,557	3,226,540	134,017
給料手当	9,324,790	13,067,390	△3,742,600
福利厚生費	1,966,173	2,473,408	△507,235
報償費	0	4,752	△4,752
旅費	25,680	0	25,680
交際費	11,000	0	11,000
備用品費	1,649,096	325,692	1,323,404
燃料費	130,729	71,037	59,692
食糧費	878	1,792	△914

科 目	当年度	前年度	増減
印刷製本費	98,516	126,126	△27,610
光熱水費	346,033	526,185	△180,152
修繕料	899,712	33,000	866,712
薬品費	1,188	3,795	△2,607
通信運搬費	1,208,929	206,675	1,002,254
手数料	1,409,067	1,758,105	△349,038
損害保険料	154,630	158,220	△3,590
委託料	2,151,380	2,106,060	45,320
使用料及賃借料	2,587,853	1,981,744	606,109
負担金	242,700	242,700	0
研修費	114,160	13,400	100,760
退職給付費用	156,977	175,375	△18,398
公租公課費	91,000	46,000	45,000
支払利息	77,056	150,893	△73,837
経常費用計	454,908,458	473,323,435	△18,414,977
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	[0]	[0]	[0]
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	[0]	[0]	[0]
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却の方法は、定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	209,011,161	26,000,000	19,081,662	215,929,499
小 計	209,011,161	26,000,000	19,081,662	215,929,499
合 計	212,011,161	26,000,000	19,081,662	218,929,499

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	3,000,000	(3,000,000)	—	—
小 計	3,000,000	(3,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	215,929,499	—	—	(215,929,499)
小 計	215,929,499	—	—	(215,929,499)
合 計	218,929,499	(3,000,000)	—	(215,929,499)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	25,163,123	25,163,121	2
建物付属設備	6,884,650	6,868,149	16,501
構築物	1,872,000	1,871,999	1
車両運搬具	47,118,000	34,081,621	13,036,379
工具器具及び備品	9,842,500	6,353,541	3,488,959
合 計	90,880,273	74,338,431	16,541,842

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 運営補助金	亀岡市	—	393,592,251	393,592,251	—	—
合 計		—	393,592,251	393,592,251	—	—

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務	278,444,281円
② 退職給付引当金	278,444,281円

(3) 退職給付費用に関する事項

① 勤務費用	25,407,515円
② 退職給付費用	25,407,515円

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。